

各 位

平成22年7月15日



会社名 株式会社 ノダ
代表者名 代表取締役社長 野田 章三
(コード番号 7879 東証第2部)
問合せ先 常務取締役業務部長 本部 聡定
(TEL. 03-5687-6222)

第2四半期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

平成22年1月19日に公表した平成22年11月期第2四半期連結累計期間（平成21年12月1日～平成22年5月31日）の業績予想における予想数値と比較して、本日公表の第2四半期決算において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成22年11月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異 (平成21年12月1日～平成22年5月31日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------------|---------------|------------|------------|------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) (平成22年1月19日発表) | 百万円 22,000 | 百万円 360 | 百万円 230 | 百万円 200 | 円 銭 12.56 |
| 実績値 (B) | 21,845 | 391 | 436 | 414 | 25.99 |
| 増減額 (B) - (A) | △155 | 31 | 206 | 214 | |
| 増減率 (%) | △0.7 | 8.6 | 89.6 | 107.0 | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年11月期第2四半期) | 22,218 | △1,559 | △1,634 | △1,629 | △102.28 |

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、緊急経済対策等により景気に一部持ち直しの兆しが見られたものの、雇用や所得環境の悪化による個人消費の冷え込みが続きました。

また当業界におきましては、住宅版エコポイント制度や住宅購入時の非課税枠拡大など政府の需要喚起策もあり、持ち家の着工戸数に回復の兆しが見受けられ、また合板相場も持ち直すなど好材料もありましたが、未だ住宅需要の本格的な回復には至らず、依然として住宅着工戸数が低水準で推移する厳しい事業環境が続きました。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間における当グループの連結業績は、売上高が前回発表予想（平成22年1月19日発表）を若干下回ることとなりましたが、損益面につきましては、合板業を営む子会社を含め昨年実施した大幅な固定費削減や各種施策による低コスト化が奏功し利益体質へ転換したことや、海外の関連会社の業績も寄与したことなどから大幅に改善し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回発表予想（平成22年1月19日発表）を上回ることとなりました。

以上